

建築学科

建築計画 3

対象	2年次	開講期	前期	区分	必	種別	講義	時間数	30	単位	2
担当教員	安田智紀			実務 経験	有	職種	建築設計				

授業概要

学校、図書館などの公共施設の計画手法について学習する。

到達目標

次の3点を到達目標とする。①医療施設・福祉施設、商業施設に必要な基礎知識を学ぶ。②授業で得た知識をきっかけに身近な建築物を見て興味関心を持つ。③「設計製図」の公共建築の設計課題及び卒業制作の基礎知識として役立て、自力で設計する。

授業方法

病院、高齢者施設などの医療施設・福祉施設、オフィスや店舗などの商業施設等について理解する。原則として教科書に沿って講義を進め、ポイントを理解するためVTRなどを有効的にを使用する。また、授業のはじめに必ず前回の授業内容の確認テストを行い、復習できるようにする。

成績評価方法

授業態度、平常点、期末テストなどを総合的に判断する。

履修上の注意

授業には集中して取り組み、授業ノートを必ずとること。出席は自己管理して出席不足にならないようにすること。授業時間数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。日本工学院授業心得（学生用）を守ること。

教科書教材

初学者の建築講座建築計画第三版 市ヶ谷出版社、第3版 コンパクト建築設計資料集成 丸善

回数	授業計画
第1回	オリエンテーション：授業ガイダンス及びビデオ鑑賞により、概要について理解する。
第2回	病院の変遷について理解する。
第3回	病院の計画手法について理解する。

第 4 回	高齢者施設の分類について理解する。
第 5 回	高齢者施設の計画手法について理解する。
第 6 回	事務所ビルの変遷について理解する。
第 7 回	事務所ビルの分類について理解する。
第 8 回	事務所ビルの計画手法について理解する。
第 9 回	劇場・音楽ホールの変遷について理解する。
第 10 回	劇場・音楽ホールの分類について理解する。
第 11 回	劇場・音楽ホールの計画手法について理解する。
第 12 回	百貨店・スーパーマーケットの変遷と計画手法について理解する。
第 13 回	飲食店・宿泊施設の変遷と計画手法について理解する。
第 14 回	駐車場の変遷と計画手法について理解する。
第 15 回	全体のまとめ、期末試験対策について理解する。